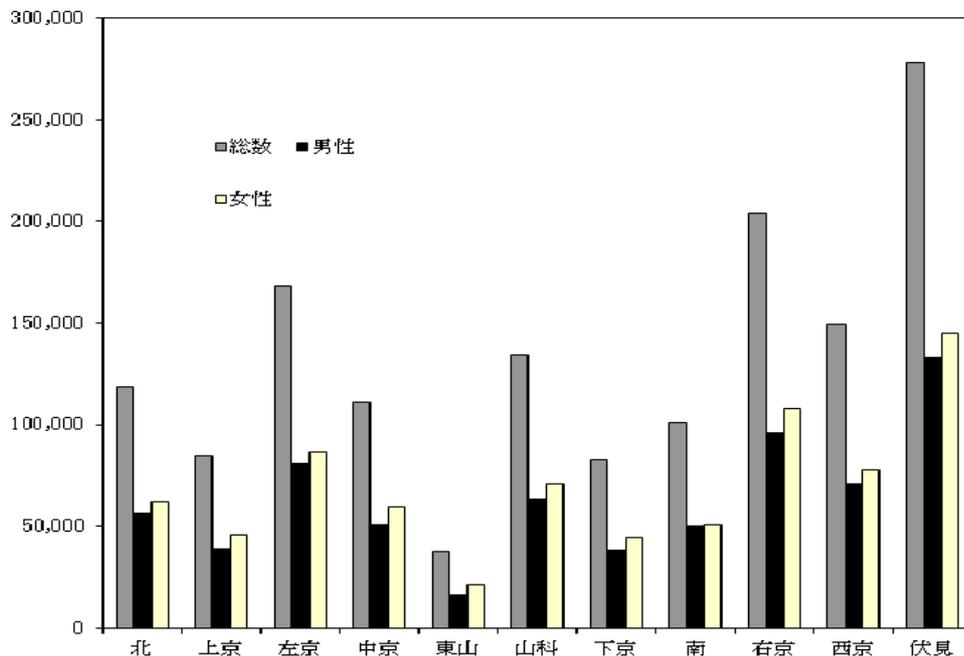


人口の概況

平成30年10月1日現在の京都市の人口（推計）は1,468,980人で、前年に比べて3,047人、0.21%減少した。世帯数（推計）は721,045世帯で、前年より5,141世帯、0.7%増加し、1世帯当たりの世帯人員は、前年の2.06人から0.02人減少して2.04人となった。行政区別人口では伏見区が最も多く、全市の20%近くを占めている。前年より人口が増加したのは中京区及び南区で、その他の行政区は減少している（図1）。

図1 行政区別人口

単位:人



京都市の人口を年次推移で見ると、戦後順調に増加を続けたが、昭和50年代後半から微増状態となり、昭和60年代から平成6年までは微減傾向に転じた。平成7年以降は再び微増状態となっていたが、平成15年以降再び微減傾向に転じ、以降、微増減を繰り返している（図2, 図3）。

平成30年10月1日現在の京都市の人口（推計）を年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口が161,844人（11.0%）、15～64歳の生産年齢人口が898,730人（61.2%）、65歳以上の老年人口が408,406人（27.8%）となり、年少人口より老年人口の全人口に占める割合が16.8ポイント高い。前年と比べると、年少人口が占める割合は0.2ポイント低下、老年人口は0.3ポイント上昇しており、高齢化が続く状況にある（図4）。

図2 京都市総人口の年次推移

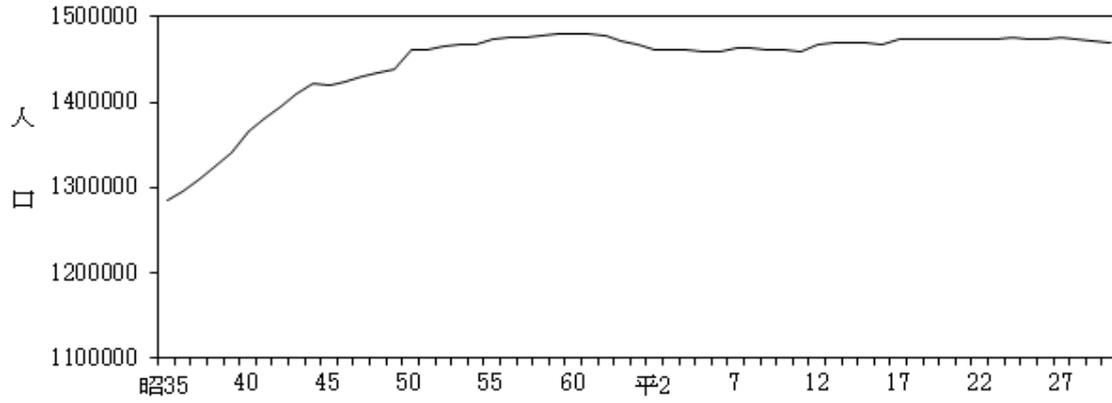


図3 人口増加率の年次推移

増加率/%

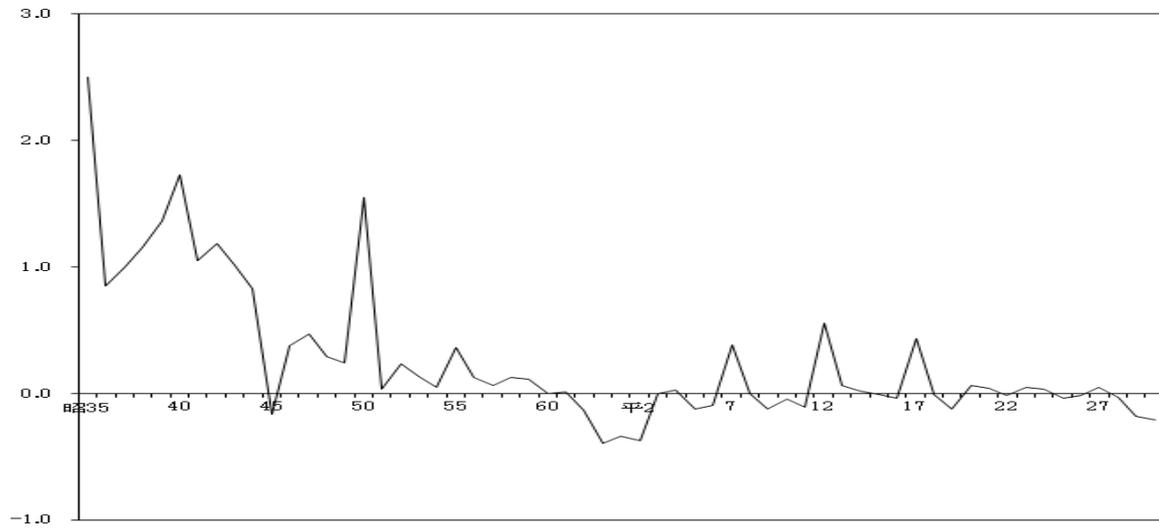
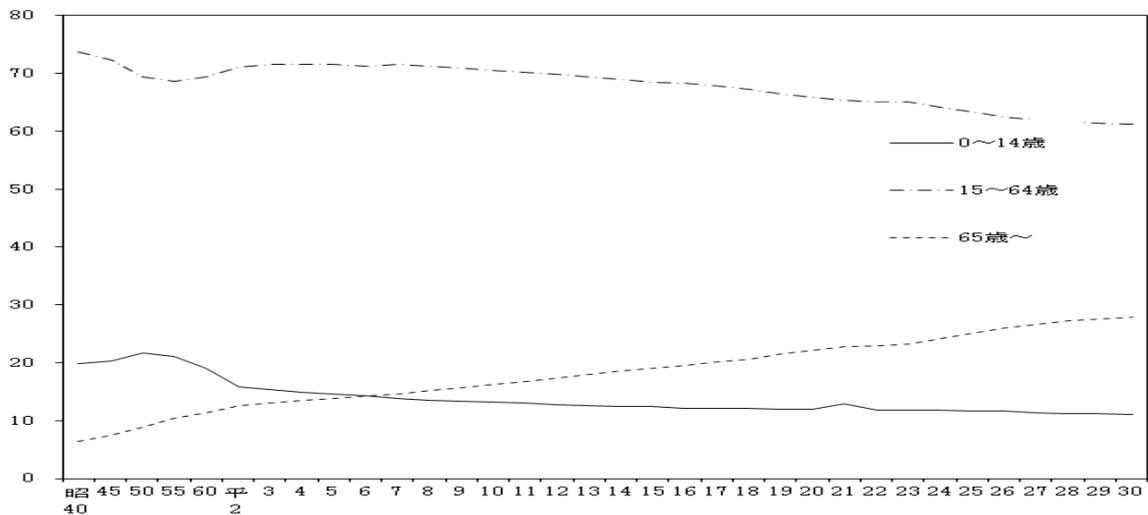


図4 年齢3区分別人口構成比率の年次推移

構成割合/%



(注) 平成2年までは国勢調査年